

道徳教育の視点を踏まえた生活単元学習指導案

知的障害学級ひかり1組
授業者

1 単元名「のびっこおみせやさん」

2 単元設定の理由について

(1) 児童の実態

本学級には、3年生3名、5年生2名の知的に遅れのある児童5名が在籍している。自分で決めためあてに向かって取り組もうとするが、困難なことがあると諦めてしまう姿がある。5年生は3年生に積極的に働きかけるが、できることも手伝おうとするなどかかわり方が適切でないときがある。3年生は学年の仲間とは声を掛け合って遊ぶが、5年生とのかかわりは少ない。自分から人とかかわろうとしない児童もいる。

また、全体的に、自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝えることが苦手であり、日常生活の中で何を話したらよいか分からずに困っている場面も見られる。

(2) 生活単元学習で高めたい力

- ・活動をしたという願いをもち、進んで活動に取り組み、粘り強くやり遂げることができる。
- ・仲間と一緒に様々な活動に取り組み、仲間と共に活動する楽しさを感じたり、よりよいかかわり方を身に付けたりすることができる。
- ・自分の思いを相手に分かりやすく伝えたり、相手の思いを受け入れたりすることができる。

(3) 単元「のびっこおみせやさん」について

本単元は、本校の児童や教師を対象に「心のとも」の商品を販売する活動である。ここでは、「注文を確かめてお金を受け取る。注文を表にまとめる。お金を集計する。品物を発注する。品物を一人分ずつに分ける。」など、様々な実際的な活動により児童一人一人の実態に応じて役割をもたせることができる。

多くの注文に対応するためには、一人一人が自分の役割を果たし、仲間と協力して活動することが大切になる。したがって、自分で決めたことや分担されたことに積極的に取り組み、粘り強く最後までやり遂げる必然性が生まれてくる。また、やり遂げるためにはどうすればよいか考えることで、より高い目標をもって取り組めるようになる。

「心のとも」の販売活動は、昨年度も行い、約350人分の注文を受け、品物を販売した。児童にとっては意欲的に取り組むことができ、やりがいを感じることでできる活動の一つである。お店を開くためには、お客さんと気持ちよく接することも大切である。は気持ちのよい挨拶や言葉遣い、動作など、お客さんへの対応の仕方を工夫させ、身近な人と明るく接する中で、気持ちよさを感じる体験も重視する。これら生活単元学習の活動を通して、自立や社会参加のための資質・能力を身に付けることを目指す。

3 単元構想

本学級に在籍している児童と交流する3年生と5年生のクラスから、ひかり学級に注文を出してもらおう。交流学級に出向き、その場で、注文の内容と金額（交流学級の担任から渡される現金）を確かめる。出向いたときや注文を受け取るときにどのような挨拶や対応をしたらよいかを事前に考え、練習しておく。交流学級の児童には、後日の昼休みに品物を届けることを伝える。品物を渡す場面でも、適宜、気持ちのよい対応の仕方が身に付くように支援する。

4 単元「のびっこおみせやさん」の目標

共通目標と個別の目標	
	<ul style="list-style-type: none"> ・お店の活動に見通しをもち、進んで取組み、自分の役割を粘り強くやり遂げることができる。 ・注文票を見てお金を合計したり、お金を確かめて受け取ったり、正しく品物を準備したりして、仲間と協力して店の活動ができる。 ・お客さんが気持ちよく買い物をするために、お客さんへの対応の仕方を工夫することができる。 ・注文票の見方や合計の仕方、お金の数え方、等価関係、接客の仕方が分かる。
A児 (3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の名前や注文票の見方が分かり、正しく集計したり、品物を出したり、お金を数えたりすることができる。 ・お客さんのことを考えて言葉をはっきり言って接することができる。
B児 (3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・注文票を見て品物を正しく出したり、お金を正しく数えたりすることができる。 ・相手を見て元気な大きな声で挨拶をすることができる。
C児 (3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・注文票を見て品物の数を正しく集計したり、品物を出したり、お金を数えたりすることができる。 ・仲間に声を掛け合って活動したり、相手の顔を見て挨拶したりすることができる。
D児 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく代金を求めたり、注文をまとめたりすることができる。 ・仲間やお客さんの求めに応じて、自分で判断して行動することができる。
E児 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく代金を求めたり、注文をまとめたりすることができる。 ・仲間やお客さんの求めに応じて行動することができる。

5 単元指導計画及び関連する道徳教育の内容項目等

時		学 習 活 動	主な内容項目	他の教育活動との関連
1	計 画	・昨年度の「えんぴつやさん」についてどのような活動であったかを思い出し、今年度の活動の在り方を話し合い、理解する。	希望と勇気、努力と強い意志	〈日常生活〉 【係・当番活動】 ・自分で決めた係の仕事や日直の仕事、給食当番の仕事に進んで取り組む。
2	準	・広告をつくる。	希望と勇気、努力と強い意志	
3	備	・交流学級と担任の先生に配る注文票を作る。	希望と勇気、努力と強い意志	
4		・注文票の見方を覚える。	希望と勇気、努力と強い意志	

5 6 7	練習 ①	・交流学級へのお知らせの仕方を考え、練習する。 ・注文票を見て、正しく品物を選び丁寧に袋に入れる練習をする。	希望と勇気、努力と 強い意志 礼儀	・仲間が忘れていた仕事を 見付けると声を掛け 合う。
8 9 10 11	注文 を ま と め る	・交流学級と担当の先生の注文票を準備し、配布し に行く。 ・注文票を取りに行く。 ・注文票と代金が合っているか確かめる。 ・注文を表にまとめる。 ・代金を集計する。	希望と勇気、努力と 強い意志 礼儀 友情、信頼 勤労、公共の精神	【朝の会】 ・朝の会の進め方を見なが らその時にすべきこ とに進んで取り組む。 【帰りの会】 ・朝の会で決めたためあて が、頑張れたかどうか を発表する。 ・仲間のよかったことや、 してもらって嬉しかった ことを発表する。
12 ⑬ 本 時 分 け る	品 物 を 分 け る	・交流学級と担任の先生の分の品物を注文票ごと に分ける。 ・分けられた品物に間違いがないか確かめる。	希望と勇気、努力と 強い意志 友情、信頼 規則の尊重 勤労、公共の精神	【宿題】 ・自分がやるべき宿題を 忘れずに行く。
14 15 16	練習 ②	・お客さんにどんな言葉を遣ったり、どのように品 物を渡したりすればよいかを考える。 ・教師が子供役、児童がお店やさん役になり互いに 練習をする。	希望と勇気、努力と 強い意志 礼儀	〈教科〉 【国語】
17 18	品 物 を 届 け る	・再度、品物が正しく入っているか確かめる。 ・交流学級の代表の子供と担任の先生に品物を手 渡す。 (昼休み)	希望と勇気、努力と 強い意志 礼儀 勤労、公共の精神	・相手に応じて、丁寧な言 葉と普段の言葉との違 いに気を付けて話す。 ・経験したことや感じた ことを文に書く。
19 20	振 返 る	・今回の「のびっこおみせやさん」で、自分や仲間 のがんばりを発表する。 ・がんばったことや楽しかったことを絵や作文に まとめる。	友情、信頼 相互理解、寛容 勤労、公共の精神	【算数】 ・簡単な表の意味と見方 が分かる。 ・等価関係が分かり、お金 を正しく数える。

6 本時の指導

(1) 生活単元学習と道徳教育における個別のねらい

個別のねらい (□生活単元学習 ■道徳教育)	
A児 (3年)	□注文票を声に出して読んだり、指を使って確かめたりして正しく最後まで品物を 分けることができる。 ■自分のやるべき仕事を最後までやり抜こうとする心情を養う。 (低：A 希望と勇気、努力と強い意志)

B児 (3年)	□注文票を読んだり、指を使って確かめたりして、正しく丁寧に品物を分けることができる。
	■仕事に関する約束やきまりを守ろうとする意欲を養う。(低：C規則の尊重)
C児 (3年)	□困ったときは、自分から仲間に聞いて、正しく品物を分けることができる。
	■自分のやるべき仕事を行おうとする心情を養う。(低：A希望と勇気、努力と強い意志)
D児 (5年)	□下級生の様子を見て声掛けしたり助けたりしながら、品物が正しいか確かめて、丁寧に袋に入れることができる。
	■仲間を励まし、助け合っていこうとする態度を養う。(低：B友情、信頼)
E児 (5年)	□全体の動きを見ながら行動し、下級生の様子を見て声掛けしたり、品物が正しいか確かめたりして、丁寧に袋に入れることができる。
	■働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする態度を養う。 (中：C勤労、公共の精神)

(2) 目標達成に向けた指導の工夫

◆活動をやり抜くための支援

〈導入場面〉

- 本時での一人一人の活動のめあてを確認することで意欲をもてるようにする。
- 一人一人に期待する道徳教育としてのねらいに関する姿を励ましの言葉で伝える。
- 前時の活動を振り返って、自分が役割を果たしている姿、上級生が下級生に声を掛けている姿などを紹介し、このときの気持ちよさに触れることで、大切にしていきたい道徳教育としてのねらいにつながる視点をもてるようにする。

〈活動場面〉

- できるかぎり自分の力でやり遂げるように、立つ位置や道具の配置が分かるための印を付けるなど環境を整えたり、既習の経験から自分たちで見つけた「コツ」を掲示したりする。

〈終わりの場面〉

- 自分のめあてができたかを振り返ったり、同じグループの仲間のよかったところを発表したりして、互いに認め合う場をもつ。
- 教師も一人一人の活動のめあてや道徳的価値に関連して見られたよい姿を紹介し、行動を価値付ける。

◆コミュニケーション能力を高めるための支援

- 5年生をリーダーとして、2つのグループをつくる。5年生は担当するグループ全体を見ながら、他のメンバーが自分の役割を果たすことができるように声を掛けたり、必要な場合は手伝ったりする役割を担うようにする。
- グループ内での仕事の分担や準備、片付け物の受け渡しなど、すべて自分たちで行うようにすることで、互いにやりとりする機会が生まれるようにする。
- 2つのグループ間で、めあてが達成できたかを確かめる場を設け、認め合ったりよりよくするためのアドバイスを交わしたりするようにする。

本時の展開

	教育内容	A児（3年）	D児（5年）	B児（3年）	C児（3年）	E児（5年）
ね ら い	生活単元学習	注文票を声に出して読んだり、指を使って確かめたりして正しく最後まで品物を分けることができる。	下級生の様子を見て声掛けしたり助けたりしながら、品物が正しいか確かめて、丁寧に袋に入れることができる。	注文票を読んだり、指を使って確かめたりして、正しく丁寧に品物を分けることができる。	困ったときは、自分から仲間に聞いて、正しく品物を分けることができる。	全体の動きを見ながら行動し、下級生の様子を見て声掛けしたり、品物が正しいか確かめたりして、丁寧に袋に入れることができる。
	道徳教育	自分のやるべき仕事を最後までやり抜こうとする心情を養う。 低 A (5)	仲間を励まし、助け合っていこうとする態度を養う。 低 B (9)	仕事に関する約束やきまりを守ろうとする意欲を養う。 低 C (10)	自分のやるべき仕事を行おうとする心情を養う。 低 A (5)	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする態度を養う。 中 C (13)
	学習活動	・期待される児童の活動 □具体的な支援				
っ か む	1 本時のめあてと個別のめあてを確かめる。	注文を受けた注文を間違えずに、品物を正しく分けよう。				
		数や鉛筆の HB、B、2B を間違えないようにする。	数を間違えないように指でさし、声に出して確かめる。	指でさして確かめて、大切に品物を持って分ける。	分からないときは仲間に聞いて、正しく品物を分ける。	品物が正しいか注文を声に出し、読みながら確かめる。
活 動 す る	2 活動を行う。	Aグループ		Bグループ		
	①準備をする。 リーダーが分担して、グループごとに1クラス分の品物を準備する。	・声に出して数えながら、品物をかごに入れる。 ・E児が品物を袋に入れるときは袋を持っている。 □HB、B、2Bが区分できるように記号を色で分けたり、品物の名前を書いてたりして分かるようにしておく。 □半分ほどできたところで、正しくできていたか確認し、残りも正しく分けるためにはどうしたらよいかめあてを再確認する時間をもつようにする。	・集計表を見て、何をいくつ準備するかをA児に伝える。 ・正しく準備ができているか指でさしたり、声に出して確かめたりして袋に入れる。 □今までの活動のファイルを見る場を設け、本時ではどんなことに気を付けるとよいか意識できるようにする。 □どんなときにどんな言葉掛けや働き掛けをするとよいかを事前に一緒に考え、掲示しておく。	・注文票をよく見て確かめたり、声に出して数えたりしながら、品物をかごに入れる。 □今までの失敗を記録したのを見て、本時で気を付けることを確認する。 □早くやろうと慌てるときは、めあてをもう一度見るように声掛けしたり「声、指、そっと」という言葉を書いて示したりしておく。	・注文票を指でさし、声を出して読みながら品物をかごに入れる。 □自信をもって取り組めるようにするために、初めの活動を見届け、できていることを褒めていく。 □注文の数が不明瞭でよく分からないなどの困る場面を意図的に作り、自分から聞くことができたときは大いに褒める。	・集計表を見て、何を準備するのかをB児やC児に伝える。 ・B児C児が準備した品物が正しいか確かめて袋に入れる。 □品物を丁寧に扱うことや仲間への働き掛けについて具体的にどのようにするかを事前に一緒に考え、掲示しておく。 □B児やC児にできているか声掛けするようにし、正しくできていたら○を付ける表を準備しておく。
	②練習をする。 互いの仕事の様子を見て、めあてが守れているかチェックする。					
③それぞれのグループごとに自分の分担の仕事を行う。						
道徳教育に基づく個別の評価の視点						
	声に出しながら、最後まで一つ一つ確かめようとしている。	A児に温かい言葉掛けをしたり助けたりしながら仕事をしようとしている。	約束に従い決められた数を間違えないように気を付けようとしている。	分からないときは進んで聞き、自分の分担を果たそうとしている。		リーダーとして仲間を励まし、みんなが気持ちよく仕事ができるように気を配っている。
ま と め	3 振り返りをする。 ①自分や仲間ががんばったことを発表する。 ②よい姿を教師が紹介する。	・人数分の品物を HB、B、2B に気を付けて正しく分けられた。	・注文の品を全て正しく準備できた。向きを考えて袋に入れられた。 ・Aさんは確かめながら品物を分けていた。	・品物を大切に持って、正しく分けられた。	・分からないときは聞いて品物を正しく分けられた。	・注文の品物を全て正しく分けられた。 ・BさんやCさんは間違えずに品物をかごに入れていた。